

別紙2 新たに「選定」した建物や庭園

NO	選定番号	区	選定名称	推薦理由（抜粋）
1	第 13-012 号	北	すがわらけ 菅原家	昭和2年（1927）から8年（1933）頃に建てられたと思われる洋風住宅。木製開口部、レンガ塀、外灯等が当時のまま残っている。貴重な昭和初期の洋館として文化財的価値が高いと思われる。
2	第 13-013 号	(非公表)		
3	第 13-014 号	(非公表)		
4	第 13-015 号	左京	まつもとけ 松本家	棟に煙出し、両妻に卯建が残る。街道に面する玄関の北側には、1間巾の格子戸が半間の戸袋を介して2枚連なっており、鞍馬火祭では戸袋に格子戸をしまい街道に開放して鎧などが飾られる。玄関の南側は駐車場として近年に改修されているが、木製の引戸で納められており景観への配慮が伺える。平屋で長きにわたり守り住み継がれており、鞍馬の歴史・文化を伝える貴重な建物である。
5	第 13-016 号	左京	いわさきけ 岩崎家	主屋は北寄りに建ち、その北西に蔵、北東部分に付属棟がある農家住宅である。主屋は切妻平入り棧瓦葺きのつし2階、間口は約6間である。漆喰壁や屋根は美しく改修され、虫籠窓と煙出しをもつ造りはこの地域の建て方を継承しており、遠景の緑豊かな山や前面の水路と一体となった優美な姿は美しい前庭とともに、松ヶ崎地域の歴史・文化を伝える貴重な建物と庭である。